



**活動報告**



**か・つ・や・くガイドブックbook**  
**- 誰もが活躍できる東京医科大学を目指して -**

女性活躍推進法の施行を受けて策定した東京医科大学行動計画の目標(裏面参照)に到達するよう、みなさまに知っていただきたいことをまとめました。男女を問わず、誰もが活躍しやすい組織となるよう、みなさま自身がチェック欄に記入し、考えていただく冊子になっています。支援センターも環境整備や働き方改革など活動を続けていきます。支援センターHPからダウンロードできます。



**医学会奨励賞受賞  
 おめでとうございます!**

支援センターの研究支援制度(研究補助者配置、メンタリングシステムなど)を利用して3名の先生が第177回東京医科大学医学会総会で医学会奨励賞の受賞講演をしました。

- 森地 振一郎先生 (小児科学分野 助教)
  - 山田 侑子先生 (社会人大学院博士課程4年 / 分子病理学分野 助教)
  - 荒谷 聡子先生 (医師・学生・研究者支援センター / 医学総合研究所 講師)
- ※講演発表順

**「女子医大・東京医大  
 ファミリーサポート」  
 新しい名称です**

本学教職員対象の一時保育サービスの名称が、平成28年度より変わりました。病児や学童、お泊りなど多様な一時保育に対応が可能です。基本料金は1時間800円～。講習を受けたサービス提供会員とのマッチングを行います。保育園や幼稚園への送りや迎えと帰宅後の預かり、また習い事や塾等の送迎などの利用が多いです。登録など詳細は女子医大・東京医大ファミリーサポート室(直通:03-5369-9075)まで。



**研究力アップ  
 &セルフマネジメント研修  
 研修記録DVDの貸し出しを  
 開始しました。**

支援センターまでお申し込みください。(本学教職員のみ)

- 貸出DVDリスト
- NO.1「医学研究の魅力と進め方～病理学の見地から」  
 穴戸 - 原 由紀子先生 (医師・学生・研究者支援センター / 人体病理学 准教授)
  - NO.2「医学研究における基礎と臨床とその間～筋疾患研究を通じて」  
 林 由起子先生 (病態生理学分野 主任教授)

**今後の予定**

ご参加をお待ちしています! 詳細は支援センターHPでご確認ください

◆研究力アップ研修  
**「英語論文読み書き、  
 プレゼンテーション力を上げよう!」**

英語論文執筆や口頭発表の効果的な手法について、長年日本で医学研究を行ってきた、英語・日本語のバイリンガル研究者からアドバイスいただきます。

- 日時: 平成28年8月19日(金)前編、9月23日(金)後編  
 ともに16:00～17:00
- 場所: 教育研究棟3階会議室A
- 講師: ポピエル・ヘレナ・明子先生 (国際医学情報学分野 助教)

◆講演会

支援センターHPよりお申し込みください。

**「医師を目指す中高生と保護者のための講演会」**

医師を目指す中高生・高卒生とその保護者、学校の教員を対象として、職業としての医師の紹介や医学部の模擬授業をプログラムとした講演会です。

- 日時: 平成28年8月4日(木)  
 17:00～18:30(開場16:30)
- 場所: 大学病院6階臨床講堂
- プログラム:  
 特別講演1「チャレンジ精神で進む医師としての人生」  
 川瀬 和美先生 (東京慈恵会医科大学 外科学講座 准教授)
- 特別講演2「人類はどのように感染症と闘ってきたか」  
 松本 哲哉先生 (微生物学分野 主任教授)

◆研究力アップ研修

**臨床研究の向上をめざして  
 - 科学的思考に基づく研究の重要性 -**

- 日時: 平成28年  
 10月7日(金)  
 17:00～18:00
- 場所: 教育研究棟3階  
 会議室A
- 講師: 磯村 達也先生  
 (医学総合研究所  
 臨床研究コンサル  
 テーション部門  
 兼任講師)

# 学校法人東京医科大学 行動計画

女性活躍推進法が平成28年4月に施行され、本学でも女性の管理職を増やす取組が推進されます。医師・学生・研究者支援センターは法人人事部と連携して、推進・啓発事業を実施していきます。

## 学校法人東京医科大学 行動計画

教育・研究・臨床・就業の場で、個人として能力を発揮できる機会を確保するなか、女性が管理職として大学の運営に寄与出来る環境を整えるために、次の行動計画を策定する。

1. 計画期間 平成28年4月1日～平成32年3月31日
2. 本学の課題 **管理職に占める女性教職員の割合を30%とする。**(平成27年3月実績28.8%)
3. 目標と取組内容・実施時期

**目標1** 文部科学省の女性研究者研究活動支援事業の推進機関であった「医師・学生・研究者支援センター」を更に活用し、質の高い教育と研究実績に裏付けされた優れた女性教育者の育成と採用を進め、**教授に占める女性の割合を15.7%とする。**(平成27年12月現在12.95%)

<取組内容>

- ・平成28年4月～ 女性研究者の研究力向上に関する研修を開催するなど、女性研究者が上位職を目指す意欲を高めるとともに女性活躍の組織風土を醸成させる。
- ・平成28年7月～ 教員公募の在り方を見直し、改善措置等について検討の上、機関承認を得る。
- ・平成28年7月～ 職位に関する実態調査から制度改善を図るなど、女性の内部昇格による教授職登用を促進させる。

**目標2** 事務職において、**管理職(課長、課長補佐)の割合を15%とする。**(平成27年3月実績11.0%)

<取組内容>

- ・平成28年5月～ 女性係長に対するアンケートを実施する。
- ・平成28年9月～ アンケート内容に応じ面談を実施する。
- ・平成28年10月～ 職員の意識改革を促す研修を毎年実施する。

**目標3** 柔軟な制度設計等により、職場環境の改善を図る。

<取組内容>

- ・平成28年5月～ 職場環境に関する実態を把握するためのアンケートを実施する。
- ・平成28年6月～ パンフレットの作成、イントラへ掲載する。
- ・平成28年10月～ 職員研修や管理職向け研修等で諸制度の利活用を促す。

～女性の活躍の現状に関する情報公表 平成26年度実績～

- ①採用者に占める女性比率 … 70.4%
- ②管理者に占める女性比率 … 28.8%
- ③平均勤続年数の男女差(女性÷男性) … 80.6%

### 交流会を開催しています 毎回テーマを決めて、 わいわいオフサイト ミーティング



みなさまのニーズをお聞かせいただき、所属の環境について情報交換をしています。交流会を通じて、ちょっと気分をリフレッシュ！また所属教室を超えたネットワークが生まれ、共同研究にもつながってきています。秋には茨城、八王子医療センターでも開催します。

4/28 (於：支援センター)

楽しく働き、研究するためにどんなサポートが必要ですか？

5/24 (於：大学)

あなたの労働時間は？ 裁量労働制のメリット、デメリット

6/21 (於：大学)

共同研究を始めてみましょう！共同研究の魅力とパートナー探し

7/22 (於：大学)

働き方改革！あなたも提案してみましょう

ファシリテーター 天野 栄子 先生 (医師・学生・研究者支援センター / 免疫学 兼任講師)



東京医科大学 医師・学生・研究者支援センター

TEL : 03-3342-6111(内線 2044・2047) FAX : 03-3342-9351  
E-MAIL : ishi-s@tokyo-med.ac.jp URL : <http://www.tmu-shien.com/>

